

# オキ探 -8月の隠岐の自然- 9月号

## トウテイランを知り尽くす！！

8月になると隠岐の海岸、岩場には白色の毛をまとった葉に紫色の花をつけた「トウテイラン」がいたるところで見られます。隠岐諸島ではたくさん見られ、お庭の花壇や畑などにも植えられています。実は、全国的に見て非常に貴重な植物です。今回はトウテイランについて紹介します。



崖に生えるトウテイラン  
場所：知夫村 赤壁  
撮影日：2021年8月6日



崖に生えるトウテイランの写真を撮影するために、這いつくばり写真を撮りました。しかし、撮影場所は非常に危険です。ダニもいるので、絶対にマネしないでください。  
※安全を確保して撮影を行いました。



山の岩壁に生えるトウテイラン  
場所：隠岐の島町  
撮影日：2021年8月26日

### トウテイランはどんな植物？

オオバコ科クワガタソウ属の多年草の日本固有種。茎や葉、全体が白い毛に覆われて葉っぱは緑白色に見え、触るとフワフワしています。8-9月になると茎の先には小さな花が穂のようにまとまって咲きます。「トウテイラン」は漢字では「洞庭藍」と書き、花の色が中国の洞庭湖（とうていこ）のように美しい色ということで、名付けられました。

### トウテイランはなぜ貴重な植物なの？

トウテイランは京都府、兵庫県、鳥取県の日本海側の一部、島根県では隠岐諸島でしか分布していません。環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されており、京都府、鳥取県、島根県では絶滅危惧種に指定されています。

隠岐では4島すべてで見られるトウテイランですが、小さな規模のトウテイランの集まりが孤立して分布しているところが多いため絶滅が心配されています。



葉っぱ（表）

葉っぱ（裏）

花

### スタッフが観察した昆虫

#### ミンミンゼミ

北海道南部～九州に分布する。体長は33～36mmで7～9月に「ミンミンミンミンミー」と鳴く。  
場所：知夫里島灯台  
撮影日：2021年8月6日



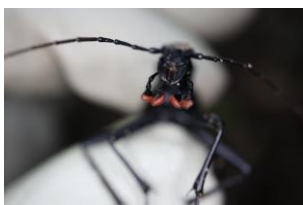
#### オニヤンマ

ヤンマの仲間は大きな複眼を持つ大型のトンボ。オニヤンマは小型の虫を食べ、スズメバチも食べることもある。撮影時はオニヤンマの産卵、「ブンブン」とおしりを水につけ産卵していた。  
場所：東谷  
撮影日：2021年8月20日



#### オキマイマイガブリ

隠岐の固有亜種。マイマイガブリはカタツムリやミミズを食べる。後ろの羽は退化をしていて飛べないため、地域によって特徴の異なるマイマイガブリがいる。オキマイマイガブリはマイマイガブリと比較して上の翅の先端部の突出が非常に短いのが特徴。  
場所：東谷  
撮影日：2021年8月20日



## スタッフが観察した花々



**ツリガネニンジン (釣鐘人参)**  
山野にごく普通に見られる多年草。隠岐では海岸に多く見られる。春の若芽は「ととき」といい、古くから山菜として親しまれている。  
花期：8～10月  
場所：浄土ヶ浦海岸  
撮影日：2021年8月3日



**ハマゴウ (浜栲)**  
海岸の砂浜や岩場に見られる低木。7～9月頃に紫色の花を咲かせる。葉や実はちぎるとハーブ系の強い香りがする。  
花期：7～9月  
場所：浄土ヶ浦海岸  
撮影日：2021年8月3日



**ヒメヒゴタイ (姫江帯)**  
山地草原に生える2年草。隠岐ではツリガネニンジンと同じく海岸でも見られる。アザミに似るが刺はない。  
花期：8～10月  
環境省：絶滅危惧II類



**ノラニンジン (野良人参)**  
ヨーロッパ原産の外来種。栽培されるニンジンが逃げて野生化したものといわれる。白色の小さな花を密生してつける。高さが大きいもので2mになる  
花期：7～9月  
場所：知夫村  
撮影日：2021年8月6日



**ヒオウギ (檜扇)**  
葉が扇状にでる。鑑賞用に栽培もされ、種子は球形で黒く光沢があり、「ぬば玉」「うば玉」と呼ばれる。  
花期：8～9月  
場所：知夫村 赤壁  
撮影日：2021年8月6日



**ナツエビネ (夏海老根)**  
湿り気のある林内に生える日本のラン。夏に薄紫色の花をつけ、非常に美しい。樹林伐採や園芸上の採取のため存続が脅かされている。  
花期：7～8月  
環境省：絶滅危惧II類  
島根県：絶滅危惧II類



**ミヤマウズラ (深山鶯)**  
葉の斑紋をウズラにたとえたことからこの名がついたとされている。花に細かい毛が生える。  
花期：8～9月  
場所：伊後  
撮影日：8月19日



**テッポウユリ (鉄砲百合)**  
ラッパの形の花が昔の鉄砲に似ているためこの名前がついた。隠岐では8月になるとのり面や石垣の隙間によく見られる。花は純白で香りがある。  
花期：3～6月  
場所：都万  
撮影日：2021年8月31日

## 参考文献

林 将之 (2016) 山溪ハンディ図鑑14樹木の葉、759pp、山と溪谷社、東京  
林 弥栄・門田裕一・平野隆久 (2019) 山溪ハンディ図鑑1野に咲く花、664pp、山と溪谷社、東京  
門田裕一・永田芳男・畔上能力 (2018) 山溪ハンディ図鑑2山に咲く花、616pp、山と溪谷社、東京  
島根県環境生活部自然環境課 (2013) 改訂しまねレッドデータブック2013植物編、254pp、公益財団法人しまね自然と環境財団、島根

## ハマベンケイソウを探しています！！



日本では北海道、東北地方などの寒い地域の海岸に生育する植物で、島根県では隠岐の島後のみ分布します。隠岐が分布の南限とされており、島根県の絶滅危惧I類に指定されている非常に貴重な植物です。数年前の台風などの災害により生育していた場所に見られなくなってしまいました。しかし隠岐の確認されていない場所でひっそりと生き残っているかもしれません。

貴重な植物、ハマベンケイソウの情報をご存知の方はぜひご連絡をお願いします！

**ハマベンケイソウ (浜弁慶草) の特徴**

葉：青白色で多肉質、長い楕円形～広卵形で3～9cm

花：7～8月、紫色の鐘形の花を咲かせる。

生育地：海岸の砂地や礫地

## 【お問い合わせ】

(一社) 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会

担当：立花

TEL：08512-3-1321 Fax：08512-3-1322 Email:info@oki-geopark.jp



隠岐の大切な自然を守るために、**ルールとマナーを守りましょう。**  
自然公園では動植物を許可なく採取することは法律で規制されています。